あんずの木

令和４年１月号　　NO.68

今年もよろしくお願いします。「今年はこんな正月にしようよ」と、世の中の感染動向を見ながらも、“我が家らしい”スタンスで過ごせたご家庭も多かったのではないでしょうか？「あれができない、これもできない」と思うよりも、「あれならできる」「こうすればいい」と思ったほうが、同じ状況でも前向きになれるものです。そして「こうしたい」「こんなふうに…」と、目標や夢を描くのもお正月ならではですよね。まずは健やかに、いつものように毎日を過ごしながら、“気持ちいい”くらいの背伸びを楽しんでいきましょう。そして、身に付いてきた力を確実なものにしていけるように。少し先を見越して、大人も子どもも、ちょっとした準備をしながらスタンバイできるように。また一緒に歩いていきましょう！

―１月・２月の予定―

１月12日（水）ＳＴ（児童）
１月25日（火）ＳＴ（児童）
２月　３日（木）ＯＴ（児童）
２月15日（火）消防訓練（午前中）
２月16日（水）ＯＴ（児童）
２月17日（木）ドクターＮの医療相談（共通）
２月18日（金）ＳＴ（児童）

＝お知らせ＝

≪卒園式＆お別れ会について≫

＊児童の卒園式は３月21日（月）に。放デイのお別れ会は３月の利用日に予定しています。
詳細は決まり次第、別途お知らせしますので、よろしくお願いします。

≪「もっと、何か…」と心配になってきたら≫（児童・放デイ・訪問支援共通）

「今の過ごし方で順調だとは思っているけれど…」「あの子、他にも通っているみたいで…」「もう少し何かしたほうがいいの？…」など、いろいろな情報がある中で心配になることもあるかと思います。
あんずは児童発達支援センターですので、様々な情報が集まってきます。調べることもできます。今の過ごし方の味わいを見つめ直しながら、プラスしたいことは何？ 次の一手が今必要なのか等、一緒に考えていきましょう。
“ちょっと相談してみたいな…”と思ったら、お気軽に声をかけてください。
利用日以外に相談時間を設けることもできます。キーワードは**『動く前に話す』**です！

≪来年度の児童・放デイ・訪問支援の利用について≫【重要！】

＊先月、児童、放デイ、訪問支援共に、来年度の利用の希望を伺っています。それを踏まえ、１月から２月にかけて、個々に利用日の相談、調整をさせていただきます。
児童は、幼稚園・保育所や他事業所との関係、送迎の関係も踏まえてご相談させていただきます。放デイは、他事業所の利用予定、授業終了時間、送迎の関係、これまでの利用状況等を踏まえて、利用日の相談、調整をさせていただきます。よろしくお願いします。

≪ドクターNの医療相談≫（児童・放デイ・訪問支援共通）

２月 17 日（木）14：00～16：00（一人 30 分枠）で、
埼玉医科大学総合医療センター小児科の奈倉道明先生による個別の医療相談を行います。
“ドクターの話を聞いてみたい”“診断や検査って？“前の相談からしばらく経ったので”等、ちょっとした思いで構いません。ご希望、ご関心のある方は声をかけてください。（空き枠有）

≪工事のお知らせ≫（児童・放デイ共通）

あんずの隣りの林が、別所有者の駐車場として整地されることになりました。
つきましては、令和４年２月より、木の伐採作業及び整地工事が始まります。
それに伴い、あんずの建物横の砂利の部分が道路として整備されます。
危険のないよう十分注意しますが、ご承知の程、よろしくお願いいたします。
詳細は、追ってその都度お知らせします

基本的な感染症対策を徹底･継続していきましょう！

健康状態への早めの留意　　検温　　換気　　こまめな手洗い・消毒

＊大人は、マスクを着用されている方のみの入場可。子ども達のマスクは、できる子のみで。
＊子ども本人の他、ご家族に体調不良の方がいる場合の利用はお断りしています。
＊ご家族の学校や職場等身近で感染者が出て、自分や家族が濃厚接触者に当たるかどうか、不明な場合は、必ず申し出てください。自己判断で利用しないようお願いします。
＊何か不安なことがありましたら、お気軽にご相談ください。

チョコレートクラスの１２月あれこれ

　朝のマラソンの曲が替わり３か月が経ちました。最初の頃は、約２分 40 秒が長くて、泣きたくなってしまう日もありましたよね。最近は、最後までがんばって走りきり、「やりきった！ つかれた！」の表情がキラキラしているチョコレートクラスです。子ども達が笑顔で走っていたり、走った後、ゴロンと横になる姿も、曲に負けず、カッコイイですね☆

　朝の会では、ひとつのトランポリンを親子で一緒にジャンプする『親子トランポリン』にチャレンジしました。どちらのペースに合わせて飛ぶのか？なかなか難しかったのですが、さすが親子!! 回を重ねる度に、どんどん息が合うようになっていきますね。親子でチャレンジできること、また活動に取り入れていけたらよいな、と思っておりますので、今年もよろしくお願い致します。

キャンディクラスの１２月あれこれ

　12 月のキャンディクラスは、お休みの子もいて、ちょっとさみしい日もありました。そんな中、ヒットしたのが『コンコンクシャン』のパネルシアターです。みんなよく見ていて、出てくる動物にくぎ付けの子、歌を気に入って口ずさんでくれるお友達もいます。歌に合わせて、動物の顔にマスクをつけるのも上手です。
　マスクの練習をしていけたらいいな、と思います。今年もよろしくお願いします。

放デイのひとり言

　毎月１回、『つくってあそぼう』を取り入れています。
簡単なオモチャから、季節の飾り物まで、「切る」「塗る」「貼る」「折る」等の基本的な作業ができるものを考え取り組んでいます。子どもに合わせ、できることをやったり、説明を聞き、自分で取り組み、わからないときは、「わかりません」「教えてください」とアピールができるように、大人は傍にいすぎないようにし、見守っています。そして必ず「できた」と達成感が持てるように考えています。
　作品は、毎回持ち帰るので、ぜひ、スタッフにエピソードを聞いてくださいね。

保育所等訪問支援のある日あるとき

会うたびに、みんな大きくなったなあと感じていましたが、園での様子を見させていただく中で、心の余裕も感じられる場面も多く目にするようになってきました。２学期のいろいろな行事を経験し、クラスの団結が深まり、みんなの成長のスピードにも目を見張るものがあった12 月の訪問支援でした。生活の流れも安定し、お友達の成長もあり、目にする見本も、よりわかりやすくなり、“わかって動けているな”と思える場面が増えているように感じました。

大きい小さいに関わらず、行事があると、いつもと違った流れになってしまうものですが、そんな時、どうしたらその子にわかりやすいだろう？と、先生方が工夫して伝えてくださっていました。それでも、いつもとの違いに戸惑ってしまう場面もあったようですが、給食等お決まりの場面で気持ちを立て直す姿が見られ、繰り返されることはしっかりわかっているという、子ども達の力強さを確認できる場面もたくさんありました。

今年度も残り３か月、訪問時にどんな表情を見せてくれるのか、
会えるのを楽しみにしています。

あんず書店

『おふろだいすき』
松岡　亨子・作　　林　明子・絵

まこちゃんが、あひるのプッカと一緒にお風呂に入ったときの不思議でワクワクするお話です。動物もたくさん登場するので、文章を読まなくても、絵を見てページをめくっていくのも楽しい一冊です。（宗像）

あったまることで、程よく力が抜けることがあります。
“ちょっとだけ ひとやすみ”を大切にしたいですね。